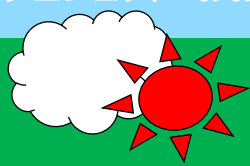


障がい理解啓発事業



令和6年度

おおた みんなのつどいプロジェクト 事業報告書



はねびよん ©大田区



令和6年度のおおた みんなのつどいプロジェクトは、5月に障がいのある人もない人も笑顔になる地域活動の募集をスタートしました。7月からは、各障がい者福祉施設や、OTA ふれあいフェスタにおいて障がい理解の啓発活動やスタンプラリーを実施しました。12月7日には、新蒲田区民活動施設において総括イベントを開催しました。こうした取組みを積み重ね、地域共生社会の実現を目指してまいります。

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

おおた みんなのつどいプロジェクト 総括イベント

～障がいのある人もない人も笑顔あふれる社会へ～

- 令和6年12月7日(土) 13:30～15:45
- 会 場 新蒲田区民活動施設(カムカム新蒲田) 多目的室(大)
- 参加費 無料(事前申込み不要)

総括イベント スケジュール

I部 区長表彰式
おおたみんなのつどいプロジェクト表彰式

II部 パラスリット 若生裕太選手の講演会
(パリ パラリンピック2024出場)
大根ちゃまによるステージイベント
手話コーラス(大田区聴覚障害者協会ふれあいサロン会)



大根ちゃま(だいこんちゃま)

プロフィール
7月13日生まれ
空の玄関口「羽田空港」がある東京都大田区からやって来たご当地キャラ「大根ちゃま」



若生 裕太(わかろう ゆうた)選手

プロフィール
パラ陸上競技(F12クラス)やり投げ
大田区出身
(大森第四小学校、大森第一中学校卒)
【所属】株式会社電通デジタル
今年の「パリ2024パラリンピック」では男子やり投げ 視覚障害者F13クラスで日本代表として出場され、7位入賞という好成績を収めました



会場 新蒲田区民活動施設(カムカム新蒲田)
〒144-0054
東京都大田区新蒲田一丁目18番10号
*駐車場はありませんが、車でお越しの場合は周辺の有料駐車場をご利用ください。



総括イベント
日時: 令和6年12月7日(土)
場所: 新蒲田区民活動施設

主催 おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会 事務局 大田区役所 障害福祉課
問合せ 電話:03-5744-1251 FAX:03-5744-1555 shoufuku-tsudoi@city.ota.tokyo.lg.jp

1 おおた みんなのつどいプロジェクト表彰

障がいのある人もない人も笑顔になる地域活動を募集しました。

「障がいのある人もない人も笑顔になる地域活動報告書」をご覧ください。



2 施設まつり 及び OTA ふれあいフェスタでの障がい理解啓発活動

1 事業内容

- (1) おおた みんなのつどいプロジェクトののぼり旗を設置し、障がい理解啓発の資料を入れた特製トートバッグを配布し、啓発活動を行いました。
- (2) 障がいがある人もない人も、誰もがいきいきとした人生を送ることができる共生社会の実現に向けて、「障がい理解の輪」から「笑顔の輪」に広がるような取り組みやエピソードを募集しました。
- (3) 施設まつりのスタンプラリーを実施し、多くの方にご参加いただきました。



特製トートバッグ

2 実施施設等

月日	施設名等	行事名
7月 14日	大森東福祉園	第40回 大森東福祉園まつり
8月 1日	いずみえん	令和6年度 納涼祭
8月 18日	うめのき園	第10回 福祉のまち糀谷 夏のおまつり ・第29回 いきいき祭り ・第22回 ふれあいまつり ・サンタフェスタ2024
	しいのき園	
	アミークス東糀谷	
9月 28日	まごめ園	第31回 まごめ幸陽祭
10月 5日	久が原福祉園	第32回 きらら祭
10月 6日	大田福祉作業所	第50回 ふれあい祭り
10月 19日	南六郷福祉園	第37回 鈴まつり
	くすのき園	
11月 2,3日	大田区社会福祉協議会ブース	OTA ふれあいフェスタ
11月 3日	障がい者総合サポートセンター	新井宿地区 福祉と文化と医療のまちのスペシャルデー
	新井宿福祉園	
11月 9日	のぞみ園	第24回 いつつのわ幸陽祭
11月 10日	こども発達センターわかばの家	わかばの家こども祭り
11月 23日	池上福祉園	第23回 いけいけハートフルフェスタ

3 応募いただいたエピソードや取組み等の紹介(抜粋)



NO.1

娘は電車に乗って降りる駅を間違え、あろうことか渋谷で降りてしまったことがあります。その時本人は「やさしいお兄さんとお姉さんを探した」と言っていました。

どうもカップルさんたちはお互いにやさしいところを見せてくれるのか、とても親身になって助けてくれるようなのです。その時も電話に出てくれて、反対側の電車に乗せてくれました。娘の知恵と若者たちの親切にほっこりです。

Kさん

NO.2

地域のイベントで、障がい児の方が楽器を持って参加していたり、作品展に素敵な色づかいの絵を出展したりしていました。

絵の作者とお話させてもらう機会がありましたが、照れつつも自信を持った表情を浮かべているのを見て、ものすごく温かい気持ちになりました。

Mさん

NO.3

主人が進行性の病気により、障がいの状況が徐々に悪くなるにつれ、大変になることも多いですが、周りの方の「何かお手伝いすることありますか。」の一言に助けられています。

Tさん

NO.4

バスに乗っている時にヘルプマークを見つけて譲ります。

車いすを見つけた時は通りやすいように道を空けます。

バリアフリートイレはできるだけ使わないようにしています。

Sさん

応募いただきありがとうございます
ございましたぴょん!



NO.5

ヘルプマークを付けている方を見かけたら、進行の妨げにならないようにすると同時に、お困り事がないか気を付けています。

Tさん

NO.6

通勤時間帯に、障がいのある子どもが電車に乗っていて、車両をしゃべりながら移動しているとき、周囲の人はいつも同じ電車に乗っているため、よくわかっている様子でしたので、通りやすいように道を空けていました。

Yさん

NO.7

区のボランティア団体「ふれあいこどもクラブ」で15年くらい前から障がいのある方に和太鼓を教えています。勇壮な和太鼓の響きを求めて一生懸命に練習する姿に感動する毎年でした。

コロナ禍もあり一時活動が休止していますが、また以前のように活動していきます。

NO.8

障害者スポーツ協会の体操で統合失調症の女性と友人になり、月1回のサークルに参加しています。

彼女とは月1回サークルが終わった後、お茶を飲んでいろいろな楽しいお話をします。障がいのある方の就職の難しさや、何か彼女のヘルプができないかと思ったりしています。彼女はとても心が優しく、とても良いお友達になりそうなので、これからも長くお付き合いしていきたいと思います。

Mさん

NO.9

今日は、年長の娘の療育の日でした。いつもの療育施設ではなく本門寺でのあおぞら療育の日だったにも関わらず、私がいつも通り療育施設への道を歩こうとすると、娘から「あれ？今日こっちだっけ？」と一言。ポーっと歩いていた母の手を引っ張り、正しい道へ導いてくれる姿に成長を感じました。

来年からは1年生！不安も多いですが、一步一步成長して行って欲しいです。

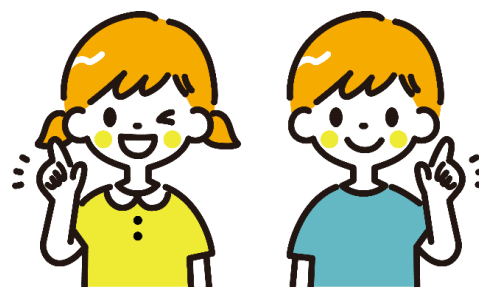
Kさん

NO.10

以前に比べ、車いす利用の方を街中で見かける頻度が増えたように思います。

それだけ出やすい環境が整備されてきたのだろうと思います。

Tさん



4 施設まつりの様子



いずみえん



久が原福祉園



大森東福祉園



しいのき園



アミークス東糀谷



うめのき園



まごめ園



OTA ふれあいフェスタ



こども発達センターわかばの家



3 おおた みんなのつどいプロジェクト 総括イベント 令和6年12月7日(土) 新蒲田区民活動施設

1 おおた みんなのつどいプロジェクト 令和6年度の活動報告

「おおた みんなのつどいプロジェクト 令和6年度の活動」をご覧ください。

2 表彰式

□ 大田区障害者関係区長表彰

<自立生活者>

自立生活によく努められた2名の方

<自立支援功労者>

障がいのある方の自立支援活動に尽くされた5名の方
計7名が表彰されました。

□ おおた みんなのつどいプロジェクト表彰

障がいのある人もない人も笑顔になる地域活動された8団体等を表彰させていただきました。

□ 大田区長挨拶(抜粋)

本日、「障害者関係区長表彰」、「おおた みんなのつどいプロジェクト表彰」を受賞された皆さま、誠におめでとうございます。

毎年、12月3日から9日までの1週間は「障害者週間」で、国や多くの自治体において、様々な障がい理解に向けた意識啓発の取組みが行われております。

本区では、本日、今年の「おおた みんなのつどいプロジェクト」で取組んできた事業の集大成として、この総括イベントを開催します。これまでの活動を振り返りながら、このような表彰式と理解啓発イベントを開催できることを大変嬉しく思っております。

先ほどの「障害者関係区長表彰」では、自立した生活を継続し、意欲を持って仕事に取組み、社会の中でしっかりと役割を果たし、障がいのある方の模範となっている方を「自立生活者」として表彰させていただきました。また、障がいのある方の自立支援活動にご尽力くださり、障害者団体等でご活躍なされている方々を「自立支援功労者」として、表彰させていただきました。

このような活動が「笑顔とあたたかさあふれる」共生社会実現への第一歩であると考えております。

来年に目を向けますと、聴覚障がい者の国際総合スポーツ競技大会である「東京 2025 デフリンピック」が開催されます。大田区では、バスケットボールが大田区総合体育館で、ビーチバレーボールが大森ふるさとの浜辺公園で行われる予定です。

区としましては、これからも本日お集りの皆さまと一緒に、障がい理解のより一層の促進に取り組んでまいりたいと考えております。

結びとなりますが、本日の表彰が、皆さま方の今後への取組みへの一助になることを願いますとともに、益々のご活躍とご健勝を心より祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

大田区長 鈴木 晶雅

おおた みんなのつどいプロジェクト 令和6年度の活動

『おおた みんなのつどいプロジェクト』は、「障がいのある人もない人も、誰もがいきいきとした人生を送ることができる」共生社会の実現に向けて、区民の皆さまに関心と理解を深めていただく取り組みです。

施設まつり・01ふれあいフェスタへの参加
7月から11月にかけて、区内障がい者施設のお祭りや01ふれあいフェスタに参加して、区民の皆さまに障がい理解のパンフレット等を専用トートバッグに入れて配布し、啓発活動を行いました。

プロジェクト表彰
障がいのある人もない人も笑顔になる、障がい理解の啓発に関する取り組みを広く募集しました。選考の結果選ばれた、障がい理解を取り入れた実践的な地域活動を行う団体を、「おおた みんなのつどいプロジェクト表彰」として表彰するとともに、具体的な活動内容について冊子にまとめました。

障がい理解のエピソード募集
経験から、「障がいのある方」につながる取り組みや「笑顔の輪」が広がるようなエピソードを募集(自由記述)し、冊子で編集しています。応募の方から厳選で10名様に、区民歴が1冊の障がい者作品「おおもひせつ」をプレゼントします。

総括イベント「障がいのある人もない人も、誰もがいきいきとした人生を送ることができる」共生社会の実現に向けて、「自立生活者」や「自立支援功労者」、「障がい理解を取り入れた実践的な地域活動」を表彰します。また、パラスポーツの親生選手選考などを併せて、障がいについて理解を深めていただくイベントを実施します。

11月 表彰式 12月 講演会等

令和6年度表彰者
【区長表彰】7名
【自立生活者】4名
【自立支援功労者】3名
【プロジェクト表彰】8団体
障がい理解を取り入れた実践的な地域活動

パラスポーツ 親生選手選考の講演会
「大橋やまによるステージイベント(障がい理解に関するクイズを出題)」
大田区聴覚障害者協会ふれあいサロン会による手話コース



□ 実行委員会会長挨拶(抜粋)

今年度の「おおた みんなのつどいプロジェクト事業」としての活動は、15 か所の障がい者施設等のおまつりの会場や OTA ふれあいフェスタにて、障がい理解の啓発活動やスタンプラリーを行いました。

また、「障がいのある人もない人も笑顔になる地域活動」をしていただきっている団体を表彰する、「おおた みんなのつどいプロジェクト表彰」は、今年度も数多くの応募をいただきました。

本日、大田区長表彰に続きまして、実行委員会で表彰をさせていただきます。

これらの表彰に加えまして、第2部では、大田区にゆかりのあるパラリンピックの若生裕太選手や大根ちゃまのステージや、手話コーラスを予定しております。ぜひ、最後までお楽しみいただければと思います。

この「おおた みんなのつどいプロジェクト」の取組みを、一人でも多くの皆さんに知っていただき、ほんの少しでも障がい理解や地域共生への理解や関心を深めていただくことを願ひまして、私の開会挨拶とさせていただきます。

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会会長 宮澤 勇



□ 令和6年度 おおた みんなのつどいプロジェクト表彰団体

- ・ 明治安田生命保険相互会社 蒲田営業所
- ・ 特定非営利活動法人 どこでもオリヒメ
- ・ 和屋-Canaux-
- ・ 一般社団法人 東京ガラス工芸研究所
- ・ 特定非営利活動法人 大田区障がい者スポーツ指導者研究会
- ・ 簡野学園 羽田幼児教育専門学校
- ・ 馬込大盆踊り大会実行委員会
- ・ 手話サークル大田'90

□ おおた みんなのつどいプロジェクト表彰式 集合写真



撮影:小山田 祐介

おめでとう
ございますぴょん!




3 ステージイベント

□ パラアスリート若生裕太選手によるトークショー

パラリンピック男子やり投げ日本代表の若生裕太選手をお招きして、パリ パラリンピックに出場された際のエピソードや、ご自身の障がいについて、また、心の支えとなった周囲からのサポートなどについてお話いただきました。

トークショーには実行委員会会長や副会長も参加しまして、出身である大田区の思い出話などに花を咲かせました。

トークショーの最後には、若生選手から会場の皆様へメッセージをいただきました。



撮影：日本パラ陸上競技連盟

プロフィール

パラ陸上競技（F12クラス）やり投げ
大田区出身
（大森第四小学校、大森第一中学校）
【所属】株式会社電通デジタル
今年の「パリ 2024 パラリンピック」では男子やり投げ 視覚障害者 F13クラスで日本代表として出場され、7位入賞という好成績を収めました。



□ 大根ちゃまによるステージイベント

大田区のご当地キャラ「大根ちゃま」から、障がい理解が深まるクイズを出題いただきました。

盲導犬に関するクイズや車いすレースに関するクイズなどを、会場の皆様を巻き込みながら楽しく出題いただき、障がい理解が深まるとともに、会場は笑顔に包まれました。

若生選手からもパラリンピックに関するクイズを出題いただきました。



プロフィール

7月13日生まれ
空の玄関口「羽田空港」がある東京都大田区からやって来たご当地キャラ「大根ちゃま」



□ 手話コーラス

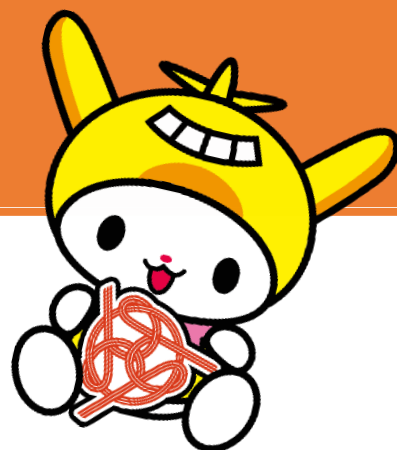
「大田区聴覚障害者協会ふれあいサロン会」から手話コーラスを披露いただきました。総勢約 30 名で、「手のひらを太陽に」と大田区イメージソング「笑顔、このまちから」の 2 曲を披露いただき、会場の皆様のなかには一緒に手話で参加する方もいらっしゃり、会場が一体となる素晴らしい催しとなりました。

手話コーラスには、若生選手や大根ちゃまも参加し、手拍子やダンスと一緒に盛り上げていただきました。



「おおむすび」

障がい者福祉施設の商品



「おおむすび」

このロゴマークには、「(お)大田区」の「(お)客様」に私たちの商品を「(お)気に入り」にしていただき、末永くご愛顧いただきたいという想いを込めて、3つの(お)と縁起の良い水引の「結ぶ」をイメージして作成しております。

平成28年度に大田区内障がい者福祉施設の商品(自主生産品)販売促進を図る観点から、多摩美術大学の学生とのコラボにより誕生したロゴマークです。

「おおむすび」と読みます。「大田区」の頭文字「O」の丸い形状から「O→円→縁」と、人とのつながりのきっかけになるようにとの願いが込められています。

現在では、区内障がい者福祉施設利用者の工賃(給料)向上・社会参加を促進する取組みを「おおむすび」と位置づけています。



障がい者福祉施設の商品(自主生産品等)を販売しています！

障がい者福祉施設では、様々な商品(自主生産品及び大田区ゆかりの商品)を販売しています。

商品の販売収入から必要経費を引いた収益の全額が、利用者の方への工賃(給料)として支払われます。より多くの方から求められる商品を販売することで、利用者の工賃(給料)向上・社会参加を促進していきます。

利用者の手で一つ一つ丁寧に作られた商品や大田区ゆかりの商品を一度、手にお取りください。

商品の購入・販売に関するお問い合わせは、下記窓口にご連絡ください。

大田区生産活動支援施設連絡会(おおむすび連絡会)事務局

(大田区立志茂田福祉センター)

電話 : 03-3734-0763

FAX : 03-3734-0797





はねびよん

おおた みんなのつどいプロジェクト

障がい理解を深め
もつと笑顔に

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

大田区社会福祉協議会
SDG推進委員会



令和7年2月

おおた みんなのつどいプロジェクト実行委員会

事務局 大田区福祉部障害福祉課 (障害事業)

電話番号 03-5744-1251

ファクシミリ 03-5744-1555



はねびよん
©大田区